

2024 年 10 月 4 日

SUGO ロードレース選手権シリーズ
エントラント各位

スポーツランド SUGO
SUGO ロードレースシリーズ事務局

2024 SUGO ロードレース 統一特別規則書 競技規則の追加について

2024 SUGO ロードレースシリーズ 統一特別規則書において、以下の赤字部分を追加致します。

第 1 章 競技規則

第24条 公式予選

スプリントレース

- 1) 公式予選の義務周回数は定めない。予選方式は計時予選とする。
- 2) 公式予選出走台数は、最大 48 台(ミニバイクレースの場合、最大 60 台)とする。
- 3) 公式予選に出走するためにコースインする場合は、指定されたコースインゲートを通過して、コースインしなければならない。
- 4) 公式予選終了後のコースアウトは、1G(45PIT と車検場の間)よりコースアウトし、パドックに出なければならない。
- 5) ウェイティング(繰り上げ出場)については、MFJ 国内競技規則付則 4-15-2-10 に準ずる。
- 6) ウェイティングのための決勝レース出場願い書(嘆願書)の提出は、公式予選結果発表後 30 分以内に大会事務局で行うこと。
- 7) ウェイティングの資格を有する者の出走の可否は、審査委員会による正式グリッド表にて発表する。
- 8) レースに出場するすべてのライダーは、公式予選に参加し、決勝レース出場資格を取得しなければならない。
- 9) SUGO ロードレースシリーズ Sound Trophy 及び RIDING SPORT CUP Open MINI Trophy においては、予選時のコンディション等を考慮し、予選通過基準を緩和する場合がある。

以上

2024 年 10 月 4 日

SUGO ロードレース選手権シリーズ
エントラント各位

スポーツランド SUGO
SUGO ロードレースシリーズ事務局

2024 SUGO ロードレース 統一特別規則書 競技規則の追加について

解説

MFJ 国内競技規則付則 4-15-2-3 において、地方選手権以下のレースでの予選通過基準タイムは、トップタイムの 120%以内と設定されており、予選通過基準タイムに満たない者は決勝レース出場資格が与えられない場合があると記載されています。

今回規則追加の対象となる SUGO ロードレースシリーズ Sound Trophy 及び RIDING SPORT CUP Open MINI Trophy は、様々な車両で参加可能かつ、混走で開催されるクラスです。レースの特性上、MFJ 国内競技規則に則り、各レース単位でトップタイムを基準とした通過タイムを設定した場合、混走している特定のクラスにのみ厳しい条件になってしまう場合があり、また混走レースにおいてクラス単位での予選通過基準タイムの設定を行った場合、クラスの編成によっては、予選通過者と予選タイムとの間に矛盾が生じる場合があります。

今回の規則追加によって、コースコンディションや、その他の条件によって、予選通過基準タイムをクリアする事が出来なかった場合でも、決勝レースの出走に問題は無いと判断される場合は、出走嘆願書の提出無しで予選通過とすることが出来るようになります。決勝レース出場台数の上限を超えない範囲で、公式予選のラップタイムの速かったライダーから順番に決勝レース出場資格が与えられます。

ただし、予選に出走しなかったライダー、予選で有効なラップタイムの記録されていないライダー、安全なレース運営をする上での懸念のあるライダーについては、予選通過基準緩和の対象外となります。必ず決勝レース出場資格が与えられる訳ではありませんので、ライダーは個々の責任において予選結果を確認してください。

また第 24 条 9)に記載の通り、Champion Trophy の各クラスは、第 24 条 9)の適用外となります。

以上